

中小企業地域資源  
活用促進法に基づく



**ふるさと名物**  
Furusato Meibutsu

わが市町村の  
ふるさと名物は  
**これ!**

はつかいちし  
**広島県廿日市市**  
が応援するふるさと名物

木のまち廿日市が育んだ

ろくろ  
“轆轤”と“彫刻”の技

**宮島細工・木製製品**





ふるさと名物  
Furusato Meibutsu

応援宣言

はつかいちし  
広島県廿日市市

## 世界遺産の技術を受け継ぐ“木のまち廿日市”

廿日市市は、広島県の南西部に位置し、南は瀬戸内海から北は中国山地まで、日本の縮図ともいえる多様な地域特性と、世界遺産「宮島」をはじめ、歴史・文化・交流など多彩な魅力や資源が溢れるまちです。また、古くから中国山地の木材や木地荷物の集積地として栄えてきました。

伝統的工芸品の宮島細工は、鎌倉時代に厳島神社の再建に招かれた宮大工や指物師の技術が起源だと伝えられています。



地域の  
プロフィール



大正10年には、日本で初めてとなる、けん玉の原型「日月ボール」の量産が、市内の木工所で開始されました。最盛期には、年間40万個以上のけん玉が製造され、今日のけん玉文化の礎となったことから「けん玉発祥の地」と言われています。

## 1

### 主な地域資源

#### ◆宮島細工

木目の美しさを活かした木地仕上げが特徴で、丸盆・菓子器・茶道具などのロクロ細工、盆、菓子器、衝立などに施される宮島彫りなどがあります。昭和57年には、国の伝統的工芸品に指定されました。

宮島名物としておなじみの杓子は、江戸時代後期、光明院の修行僧・誓真（せいしん）が、巖島弁財天が持っていた琵琶の形から思いついて制作を始めたと言われています。



#### ◆木製製品

江戸時代、傘用ロクロなどのロクロ細工を中心に発展し、明治10年頃からは木工玩具の製造が始まりました。

昭和初期からは近代的な木工業へと発展し、高い技術を活かした家具や住宅用部材なども製造されています。



## 2

### ふるさと名物

#### ◆宮島細工

口クロ細工、宮島彫り、杓子など、幅広く日常生活に使用される製品が多く作られています。木地仕上げが多く、自然に育まれた木目の色調や手触りを十分に生かしており、使い込むほどに光沢が増してきます。

#### ◆けん玉

海外でも愛好者が増えており、高い人気を誇っています。

遊び道具としてだけでなく、空間に遊びを演出できるオブジェとして、芸術性を高めたけん玉を製造し、高付加価値化に挑戦する事業者も出てきています。



## 1

### 独自の支援策

#### ◆廿日市市産業振興基本条例

産業振興の基本理念を定め、地域経済の健全な発展を図ることを目的として、平成28年4月に施行しました。多様な主体が連携・協働して、地域資源を積極的に活用し、新事業の創出を図ることを掲げています。

#### ◆廿日市市産業振興ビジョン

平成28年度から10年間の産業振興の基本方向をビジョンとして策定しました。横断的戦略“森林の育成から木の消費までを結ぶ「木のたびネットワーク」の形成”では、市産材の活用や市内事業者の加工技術を活用したデザイン性・ストーリー性の高い新商品の創出を掲げています。

#### ◆地域産業資源活用・農商工等連携等事業費補助金

地域産業資源活用事業計画の認定を受けた事業を実施する経費の一部を補助し、新商品・サービスの開発・販路開拓を支援しています。

## 2

### 独自の支援組織

#### ◆しごと共創センター

関係機関と連携して、地域産業資源を活用する事業者を支援する部署「しごと共創センター」を平成28年4月に設置しました。